

不具合事例		整理番号 T-07-003	
タイトル	汚染土壌処理施設受け入れ拒否で、工事中断！		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第二種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「えっ!! どうして受け入れ NG ですか？」</p>		
作業内容	汚染土壌の掘削除去および場外搬出		
使用機器	バックホウ、ダンプトラック他		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 掘削した汚染土壌を搬出し、汚染土壌処理施設へ持ち込もうとしたところ、土壌汚染対策法で定められている分析項目だけの計量証明書では受入先の受入基準を満たしていることを証明できず、受入を拒否された。 その結果、対策工事が中断し、追加項目の分析に要した期間、工期の遅れが生じてしまった。 			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 汚染土壌の受入先である汚染土壌処理施設と事前によく協議、あるいは確認を行い、受入先のルールに合わせた分析項目と頻度で分析を実施する。(計画者・監督者) 土壌掘削中に土壌汚染対策法上において定められていない油分などと遭遇する場合もあるので、複数の受入先の受入基準(分析項目、分析方法、基準値)を確認しておく。(計画者・監督者) 複数の受入可能な場所を選定しておくことも望まれる。(計画者・監督者) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 掘削工事を中断し、受入先に要求される必要項目の分析を実施する。 現在の分析結果(分析項目、分析方法、基準値)で受入可能な他の処分先に搬出することも有効な手段である。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 受入先によってそれぞれの受入規準が定められているため、事前に受入先に確認およびヒアリングする必要がある。 特に、受入先によっては土壌汚染対策法以外の基準を設けている箇所があるため、受入先の基準(分析項目、分析方法、基準値)への適合を証明できることが求められる。 			
関連法規等、出典			
キーワード	土壌搬出、汚染土壌処理施設、中間処理場、受入基準		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

処分場受け入れ拒否で、工事中断！

説明図



作業内容

汚染土壌の掘削除去および場外搬出

指示事項

- ・汚染土壌の受入先である処分場等と事前によく協議、あるいは確認を行い、受入先のルールに合わせた分析項目と頻度で分析を実施する。
- ・土壌掘削中に土壌汚染対策法上において定められていない油分などと遭遇する場合もあるので、複数の受入先の受入基準（分析項目、分析方法、基準値）を確認しておく。
- ・複数の受入可能な場所を選定しておく。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン